

- 1 **開催日時** 令和6年5月29日（水）午後1時30分～2時50分
- 2 **開催場所** 射水市役所 3階 302・303会議室
- 3 **出席者** 篠井委員、板山委員、稲田委員、岡田委員、荻浦委員、表委員、春日委員、酢谷委員、田村委員、長井委員、成瀬委員、野澤委員、深原委員、古城委員、堀委員、向田委員、森田委員
欠席2名（片町委員、福田委員）

4 議題及び会議の結果

- (1) 第3次射水市健康増進プランの策定について
計画策定の趣旨、計画の期間、計画の位置づけ、計画の基本的な考え方について説明
- (2) 射水市民の健康にかかわる状況について
人口・世帯について、出生と死亡について、特定健康診査、国民健康保険の医療費の状況
要介護認定者の状況、健康寿命と健康感について説明
- (3) 健康づくりに関するアンケート調査結果について
① 市民に行ったアンケート調査結果について報告
② 市内の健康づくりボランティアに所属する会員に行ったアンケート調査結果について報告
- (4) 第3次射水市健康増進プラン策定スケジュールについて
11月第2回協議会、12月議会説明、1月パブリックコメントによる意見募集、計画素案の修正、2月第3回協議会。3月に議会説明、公表のスケジュールであることを説明
- (5) 令和6年度射水市自殺対策部会実施要領（案）について
新たに専門部会として自殺対策部会を開催し、自殺に関する支援についての情報交換や自殺対策に関する課題抽出。今年度は、第3次健康増進プランの中での自殺対策の部分について意見をもらい、計画に反映していきたいことについて説明
- (6) 意見交換（主な発言は以下のとおり）
- 【委員】 令和4年度市の自殺死亡率は県より低くなったとのこと。対策について効果的と考えることは何か。
また、ゲートキーパーの養成講座受講数に関する目標値は、平成30年度100人から令和8年度1,500人に増加するとしている。目標値が大変大きいと思うが、目標達成の具体的な策について教えてほしい。
- 【事務局】 市では、自殺対策の一つとしてゲートキーパー養成講座を地域、職域、市職員、専門職等様々な方を対象に開催し、普及を進めている。養成講座の受講数は令和6年3月末現在では1,210名の状況。
また、「Let's トライ IMIZUSHI健康8」のパンフレットとして「S 睡眠十分心も体も健やかに」を作成し、地域や保育園の保護者等へ配布し、こころの健康の周知に努めている。
- 【委員】 射水市の重点課題として、がん予防、糖尿病予防、自殺予防を上げている事は様々なデータを元に納得できる。結局のところ「Let's トライ IMIZUSHI健康8」をしっかりと行うことで、生活習慣病全体を予防できる。国の健康日本21（第3次）では、健康格差を縮小することで誰1人取り残さない、取りこぼさないスローガンが付け加わったので、第3次射水市健康増進プランに取り入れることが必要と思う。
- 【委員】 糖尿病が基礎疾患となり、心疾患や脳血管疾患等様々な病気を引き起こしていくため、その改善、又は予防策を行うことは非常に重要。そのため、糖尿病が増進プランの重点課題として挙がることはいいと思う。
- 【委員】 市民の健康づくりについて。デジタル化時代のため、携帯等を使って各個人が健康づくりを全体的に評価できるアプリみたいなものがあればいいと思う。射水市は健康アプリを導入しているか。第3次健康増進プランでは、個人が簡単に自分の健康を評価でき、健康寿命延伸につながる取組ができればいいと思う。
- 【事務局】 市では、令和4年度からウェアラブル端末とアプリを使ったヘルスアップ+（プラス）事業を実施しており、富山県立大学との共同事業で行っている。参加者数は少数ではあるが、健康データを県立大に分析してもらい、ビッグデータとして今後の健康事業の方に生かしていくという趣旨で行っている。